

## 1. 概要

実施日：2016年3月8日(火)

訪問場所（受入機関）：新潟県庁

対象科目：コンサルティング・プロジェクト指導Ⅰ

当日の内容：

13:00～15:30 「少子化対策モデル事業取組報告会」への出席

16:00～17:00 新潟県庁、新潟経済社会リサーチセンター、検証委員の方々との分析に関する  
打合わせ

## 2. 具体的な実施内容

コンサルティング・プロジェクトでは、新潟県庁を受入機関として、県が現在行っている「少子化対策モデル事業」の検証を行う。「少子化対策モデル事業」は、H27年に開始された県の少子化対策のためのプロジェクトで、「時間的ゆとり」、「経済的ゆとり」、「地域子育て支援」の観点に基づく6種類の少子化対策を県内の複数の企業等で3年間実施し、その効果を検証して、最終的に国への提言を目指すものである。コンサルティング・プロジェクトでは、このモデル事業の実施期間の途中で各参加企業の従業員を対象に定期的に行われるアンケート結果を分析し、その時点での状況やモデル事業の効果を測る予定である。訪問前の時点で、初回アンケートのデータ整理と簡単なまとめまでを行った。

今回はコンサルティング・プロジェクトを進めるにあたって、指導教官であり本モデル事業に検証委員として携わっておられる山重慎二先生に同行して受け入れ先の新潟県庁を初めて訪問し、県庁職員の方々や並行して分析を行う業者の方々、そして他の検証委員の方々と顔合わせするとともに打合わせに参加をさせていただいた。打合わせの主な内容は、今後の検証方針の検討であったが、この中で、私自身が訪問前にまとめた初回のアンケート結果についてのご説明を皆様に対してさせていただいた。

また、打合わせに先立って行われた「少子化対策モデル事業取組報告会」にも聞き手として出席させていただいた。モデル事業についての説明や、渥美由喜氏によるワークライフバランスについての講演、本モデル事業に参加している県内企業等からの取り組み状況の発表などを拝聴した。

打合わせ、報告会ともに個人的に得られるものが多く、今後につながる有意義な訪問となったように感じている。打合わせへの参加では、効果検証の裏側を見させていただき、その難し

さについても知ることが出来た。このことは外から見ているだけではなかなか知り得なかった部分であると思う。また、報告会への参加では、本モデル事業の現状について理解を深めるのみならず、事業の重要性についても改めて実感することが出来た。このことは今後の分析作業に対するモチベーションという面でもプラスに働くものとなったと思う。

### 3. 今後について

初回のアンケートのデータを受け取ったのがごく最近ということもあり、これまではあまりコンサルティング・プロジェクトを進めることが出来ていなかったが、今回の新潟訪問を終えた今、本格的に分析を進めていくための態勢が整ったといえる。今後は山重先生のご指導を受けながら、初回のアンケート結果について、より深い分析を行っていく。そして、来年度に再び新潟を訪問し、この分析結果についてご報告をさせていただくことを予定している。